

# 静岡県の 学校図書館

## 研修 報告

### 令和3年度希望研修「情報リテラシーと学校図書館」

令和3年5月14日、センターでは、「情報リテラシーと学校図書館」研修を行いました。当日は

講師の帝京大学教育学部教授・鎌田和宏氏から、センター内の会場に集まった受講者へ、ライブ配信による講演・演習を実施していただきました。

講演では、中教審答申等などに見られる学校教育の課題について触れ、これからの学校教育に求められていること、学校図書館が果たす役割についてお話がありました。詳しくは次の通りです。



昨年からの新型コロナウイルス感染拡大によるパンデミック発生など、予測困難な時代において、これからの学校教育には、子どもたちが基礎学力だけでなく、問題解決能力などの汎用的な能力を身につけることが求められている。そのために必要な学習の基盤となる3つの資質「言語力」「情報活用能力」「問題発見・解



令和3年6月発行

発行：静岡県総合教育センター

企画・ICT推進課生涯学習推進班

電話：0537-24-9715

メール：sogokyouiku-kikakuict@pref.shizuoka.lg.jp

決能力」の育成については、これまでも学校図書館で取り組まれてきた読書活動や探究活動を活用できる。

汎用的な資質・能力を育てることは、豊かな言語力を基幹にし、情報活用能力及び問題発見・解決能力の育成を行うことで可能となる。

言語力の高い生徒は、学校教育の場でも日常生活においても高い能力を発揮するが、言語力を育てるには、これまでの楽しむための読書（物語や小説）だけでなく、知識や情報を得るための読書、生き方を育てる読書を併せて推奨していく必要がある。

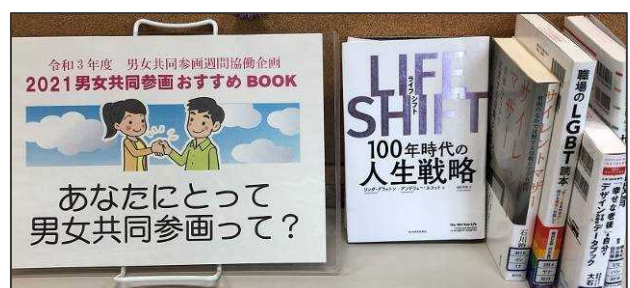
また、情報活用能力及び問題発見・解決能力の育成が「情報リテラシー」（講演の中で講師は「自らの願いの実現のために、調べ、読み取り、考え、表現する力と技」と表現した。）を身につけることに繋がるが、それらの育成には長い時間を要する。1人1人の先生たちが教科を問わず、言語活動・探究活動を授業に取り入れていくことが望まれる。学校の教育計画全体に関与するため、学校長が学校図書館の長としてリーダーシップを発揮することも必要と考えられる。



午後は探究的な学習を実践する方法として、情報カードを利用した演習を行いました。

演習の後は、帝京大学メディアライブラリーで行われている、読書を大学全体で推進する総合的なプロジェクト「共読ライブラリー」についてもご紹介いただき、1日で多岐に渡る内容を学ぶことができる研修となりました。

展示場所は図書室内、展示期間は6月1日～7月15日です。ぜひ立ち寄ってご覧ください。



## あすなる 図書室 から

### あざれあ主催：協働企画展 「2021 男女共同参画 おすすめ BOOK」

静岡県男女共同参画センター

「あざれあ」では、6月の男女

共同参画週間に合わせ、県内の図書館で、関連する本を一斉に展示する協働企画展を実施しており、これにあすなる図書室も参加しています。

資料  
案内①

静岡県読書ガイドブック  
『本ともだち(小学生版)』  
五訂版

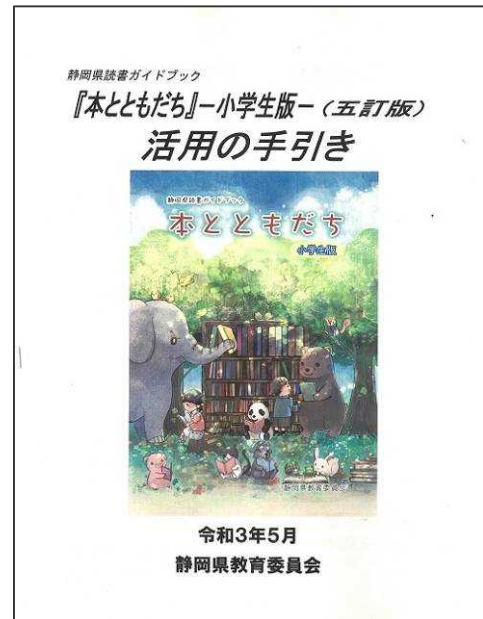
県社会教育課は、小学生のときから本に親しむ習慣を身に付けることを目的に、静岡県読書ガイドブック『本ともだち(小学生版)』を作成し、県内すべての小学1年生に配布しています。



『本ともだち』には、学校図書館での本の扱い方、探し方といった利用案内や、子ども向けブックリスト(物語・知識・遊び)などが掲載されており、子ども自身の読書支援に役立つ内容となっています。

併せて、教職員向けに「活用の手引き」を配布しています。こちらには、『本ともだち』掲載内容のねらいや、指導上の留意点などがまとめられており、オリエンテーションや授業等での学校図書館活用に役立つものとなっています。

ぜひご利用ください。



資料  
案内②

国際子ども図書館：  
「SDGsと子どもの本 いま、  
図書館にできること」

SDGsは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標です。貧困根絶、健康の確保と福祉の促進、平等な教育、気候変動対策など、17の目標が定められ、世界全体で自国や世界の問題・課題に取り組むことを推奨しています。

国際子ども図書館はこれに関連し、SDGsと子どもの本に関する特設サイトを設けています。

サイト内では、国連広報センター所長・根本かおる氏と国際子ども図書館長・堀純子氏による対談など、関連動画を公開しています。

また、国際連合はSDGsに関連する子ども向けブックリストを、国連の6つの公用語(アラビア語、中国語、英語など)の本から選出し、作成しています。国際子ども図書館では英語版のブックリストを参考に、選出された本を「子どもと本のニュース」内で発信しており、特設サイト内でこれまでに発信された分を見ることができます。

特設サイトは、次の二次元バーコードからアクセスできます。ぜひご覧ください。

